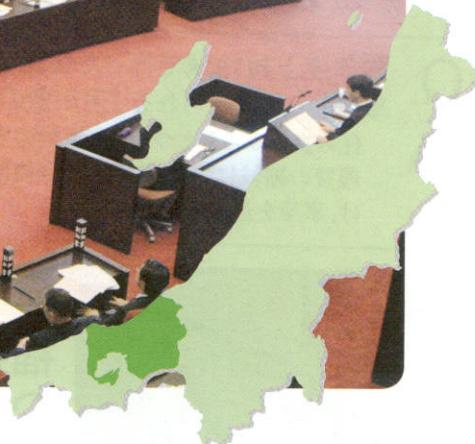


かけがえのない上越



政策は現場から!!
“人として”感じて実行!!

スピード感と県民のニーズにあった政策を打ち出す、知事としての決意を!!

各部署自らが責任を持って
政策を実施する
体制の整備を図る



100年に一度の大不況!!
県制度融資の新規融資枠の創設を!!
『あっせん保証』の実施

ネットワーク形成における広域観光の確立を!!(産業経済副委員長)
『佐渡の“トキ”』、『糸魚川市“ジオパーク”』、『妙高市“生命地域の創造”』
『上越市“天地人・春日山城趾”』の充実を!!

未来ある子供のために!!
特別保育・放課後児童クラブ
の支援拡充を!!

ホームページにブログ開設しました。

<http://www.nirei.jp>

[新潟県議会12月定例会一般質問より抜粋]

ごあいさつ

当選させて頂き早2年になろうとしております。私たちを取り巻く環境は100年に一度の大不況に見舞われており、「言葉の説明責任」と「発言の重み」をかみしめながら、昨年は「偽」から「信頼」へ、本年は「変」から「愛」へ転換するよう、政治の重要性が問われております。これからもスピード感を重視し、「将来の方向性」と「原点回帰」をモットーに一所懸命頑張っていきます。

敬具



県内経済と土木事業について

Q. 県はタイムリーに様々な支援策や前倒し事業を打ち出しているが、経営危機に瀕している中小企業または失業した方々への支援をどのように考えているか？

A. 県としては、直接現場の声を聞きながら、スピード感を持って、事業者ニーズに対応していくとともに、失業された方々に対し、緊急的な求人開拓を検討していきたいと考えております。

Q 県民の安全・安心を考えた歩道・信号機の整備を進めていただきたい。

A. 「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき、通学路等での事故発生のおそれなどの観点から、見直しをしているところです。その結果を踏まえて、限られた予算のなかではありますが、交通弱者である児童等の安全確保を図るため、通学路を重点的に、整備を進めます。

Q. 昨年度上越地域で行った住民の協働による『県道安全・安心みちつけ事業』・本年行われる『河川敷の雑木有効利用』の取り組みについて

A. 住み良いふるさとづくりや地域の安全・安心の向上の助けとなり、同時に維持管理費の縮減につながるため、今後県民や地域の団体に、積極的な参加を呼びかけ、事業を進めてまいります。



あにまるネットワーク ポニーズ12月訪問

福祉政策について

Q. 障害者や認知症高齢者のための『日本一の事業』について マンパワーの充実を

A. 利用者が多い長岡市と上越市の社会福祉協議会には、平成19年度から事務補助職員を各1名ずつ配置し、今後も配置について検討していきたいと考えております。

障害者自立に向けた受け皿でもあるNPOへの支援について

サービス提供に従事する者の養成や資質の向上を図りながら、障害者が自立に向むけることを利用できるよう、NPO法人の事業実施等について支援を行ってまいります。

A. サービスを利用するより、NPO法人の事業実施。

農林水産業について

米政策プロジェクトチーム

Q. (にれい) 食料自給率の向上や安全・安心な食材を食卓に届けることを政策に掲げているが、国際化や国内の産地間競争、農作物の販売価格の下落と生産費の高騰といった状況がある中、県独自の政策が必要ではないか？

A. 食の安全が脅かされている現状において、100%の食料自給率を誇る本県が日本の食料基地としての役割を果たし、それを担う農林漁業者が、安全・安心な食料を供給し、安定した所得を確保していくことが必要と考えます。

Q. (にれい) 20年産米における県間調整は佐賀県から7,590トンの譲渡の申し出があり、本県では、その半分程度の3,510トンの生産数量の譲渡を受けた。敵地適作を推進する観点から、この県間調整を有効活用すべきではないか?

A. 謙譲された数量が在庫の増加に結びつかないよう留意しながら、可能な限り積極的に活用していくたいと考えております。



東京農工大生研修受け入れ

Q. 今後の耕作放棄地の解消にむけた農業基盤整備の促進について

A. 耕作放棄の防止にも有効的な農業基盤整備の促進が必要であると、認識しております。土地改良事業償還金に係わる農家負担の軽減につきましては、高金利や事業費の増大により償還が困難となった地区に対し、年償還額の標準化や償還利子助成を行うことにより農家負担の軽減措置を講じています。